

命口説（ぬちくどうち）

本調子

工	四	乙	四	合	尺	工	合	尺	工	五	七	五	工

尺	工	五	工	尺	上	老	上	尺	工	合	尺	工
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

五	工	尺	工	四	合	尺	工	五	四	乙	四	合	尺	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

乙	四	上	四	工	四	乙	四							
---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

命口説（ぬちくどうち）

本調子

2 / 2

一、1 行じやる戦争（いくさ）や 覚
出ちん

二、5 命ただ一ち ひさぎやい

見ぬ毛立ちさみ 恐ろしや
此の世ぬ地獄や ありどうやる

島尻中頭 国頭とう

過ぎてい過ぎたし 忘ららん

2 日ぬ丸揚ぎとてい 竹やりに

6 海山川ぬ 形までい

変わい果ていたる 我がウチナ

命や預けてい 国ぬ為
エイヤエイヤとう 勤みたん

1 如何し呉みせか 神仏

3 君に忠孝 信じとうてい

7 あぬ洞窟此ぬ洞窟 隠りとてい

島人諸人 命身かき
護てい護たる 事やしが

命やようよう もうきていん

親、兄弟、子、孫や 散りじり

4 艦砲射撃 雨あられ

8 如何に物言わん 草木やていん

あたら生り島 散々に
火の海火の山 なちねらん

命あるたみし 焼かりりば
アキヨくとう 泣かなうちゆみ

三、9 戦争（いくさ）起くちやし 何

ぬ為か

戦争（いくさ）始みた 誰やゆ

が 神ぬ仕業か 人故か

10 戦争世しぬぐ 平和（みるく

）世ん

迎えるさみとう思ば ありく

りとう 国ぬユサユサ 果ていや無ら

ん

1 1 幾年月日 経るたとてい

ウチナ―御万人 あぬ戦争工

イ 子や孫に語らとうてい

何時まで忘んな 命口説